歩～あゆみ～

兵庫県立神戸北高等学校
野球部

2021年（令和3年）
第6号

発行日
6月14日（月）

発行
野球部スタッフ一同

編集者
宮井 一真

部活動目的
～魅力的な大人になる～

所在地
神戸市北区唐櫃台
2丁目41番1号

電話番号
078（981）0131

最後の夏、最高の夏に

過去最大の下剋上

◆7月3日より、第103回全国高等学校野球選手権大会兵庫大会が開催される。47回生（現3年生）にとっては、最後の夏となる。新型コロナウイルスの影響により発令された緊急事態宣言で部活動の大幅な制限をされても、腐らずにコツコツと野球に取り組む姿にはスタッフ一同、関心している。1・2年生はその姿を見ておいてほしいと思う。◆さて、先日君たちにスローガンを決めてもらった。「過去最大の下剋上」。新チーム結成当初にこのチームでの目標を決めたときは県大会ベスト4。これは歴代の先輩方も達成できていない。先輩方を越えていくということなのだろうか。◆参考程度に紹介しておくと、最高成績は36回生の県大会ベスト8。これは春季大会での成績だ。選手権のみに限定すると、4回戦進出（ベスト32、記念大会はベスト16）が最高成績だ。

習慣について

◆中間考査お疲れ様。2・3年は新しい学年での、1年生は高校生活初めての考査。私から「期末考査は選手権と重なるから今回の中間が勝負」と伝えてきた。どのように準備し、本番を迎えたか。◆今回の考査を迎えるにあたって、1日の中で少しでも勉強する習慣が身についたのであれば、ぜひそれを継続させてほしい。◆人間は習慣が大好きな生き物である。その習慣にも「良い習慣」と「悪い習慣」がある。早起きをする、朝練をする、毎日5分は勉強するといった「良い習慣」を身に着けるには、努力をしないと身に付かない。そこには苦痛が伴うからである。一方で、「悪い習慣」はどうだろう。電車に乗ったら携帯電話を触る、スマホゲームをする等、努力しなくても楽をしていれば身に付くものばかりだと思う。◆さてここで考えてほしいのが、君たちなら「良い習慣」がある人と「悪い習慣」がある人、どちらを信用するか。私は、どれだけ高い地位や肩書、学歴を持っていても「悪い習慣」のある人は信用しにくい。人間は習慣の動物であり、習慣がその人そのものを表すからだ。さて、君たちなら、どちらの習慣を身に付けますか？

（宮井一真）

～過去5年の成績（選手権）～

- ・2020年（46回生）●（1回戦敗退）
- ・2019年（45回生）—○●（4回戦敗退）
- ・2018年（44回生）○○●（4回戦敗退、ベスト16）
- ・2017年（43回生）○●（3回戦敗退）
- ・2016年（42回生）●（1回戦敗退）

※1：左から1回戦、2回戦…、5回戦（記念大会は4回戦）進出でベスト16。
※2：「○」は勝利、「●」は敗北、「—」はシード校のため、2回戦からの参加。

最高のポジション

◆たかだか30半ばの人生であるが、ここまで様々なセレクションにあってきた。レギュラーになるのか、イレギュラーなのか。好かれるのか、嫌われるのか。合格通知なのか、不合格通知なのか。採用されるのか、不採用なのか。そして今尚も、私自身、セレクションの日々は続いている。そんなセレクションの最後の場面は自分には選べないことばかりだ。レギュラーなのか、好かれるのか、合格なのか、採用なのか。そんなことは、本人には分からない。コントロールできないことは、それまでの過程を“どのように過ごしてきたのか”でしかなく、あとは待つだけである。◆野球にかかわらず、スポーツをやっている以上、誰もが「試合に出たい」という思いを持っているであろう。現在のチームにも同じポジションに複数人が試合に出るためにひとつの椅子を掛けて切磋琢磨しているはず。以前はひとつの椅子を掛けて複数人が“争う”ことが当たり前だと思っていた。だから、自分の必殺技はライバルには教えないことで自分の個別化を図り、優位性を主張することが大切だと感じていた。そして、同じポジションの選手がエラーをすることを喜んでいた。すぐに自分が試合に出してもらえるように。でも、これ何か不思議じゃない？チームの勝利の為には味方のエラーは近道にはならない。であるのに味方のエラーを喜ぶって…。冷静に考えてみると、これは歪んでいる。だからレギュラー争いという感覚がここ数年はしっくりこなくなった。それよりも、チームが勝つために、今は同じポジションの仲間とどのようにして技術を高め合い、チームに貢献していくのかが大切なのではと考える方がしっくりくるようになった。仲間のレベルが上がれば自分もレベルを上げなければ試合には出られず、それが結果的にチームの向上につながる。これが本当のチームではないのかと。自分たちのポジションの代表者が試合に出てその選手がエラーをすれば、代表者を支えるポジション仲間が悲しい気持ちになるようなチームがいいなと思う。あなたのポジションはどんな関係だろうか。◆もうすぐ、試合出場をかけたセレクションが始まる。ポジション代表としてどのような信頼を得られるのか、それは一日二日で身に付けられるようなものではない。苦しい時に支え合い、辛い時に助け合い、協働しよう。そして仲間の喜びが自分の喜びになるように。最高のポジションの誕生を期待している。

（福本友貴）

Panasonic

◆お久しぶりです。皆さんお元気ですか。◆緊急事態宣言が延長になり野球をする時間が限られる中、精一杯に己を磨いていると言う声を聞きます。外部コーチ兼OBとしてとても嬉しく思います。◆夏の大会も近づきチームの士気も上がる頃だと思います。そこで、更に心を磨く為の本の一節を紹介したいと思います。参考程度に。◆自分には自分に与えられた道がある。どんな道かは知らないが、他の人には歩めない、自分だけしか歩めない、二度と歩めぬかけがえのないこの道。この道が果たして良いのか悪いのか、考える時もあるだろう。なぐさめを求める時もあるだろう。しかし、所詮はこの道しかないのではないか。あきらめろと言うのではない。今立っている道、今歩んでいるこの道、ともかくもこの道を休まず歩むことである。自分だけに与えられているかけがえのないこの道ではないか。他人の道に心を奪われ、考えにくれて立ち止まっても、道は一つもひらけない。心を定め、懸命に歩めばならぬ。それがたとえ遠い道のように思えても、休まず歩む姿からは必ず新たな道がひらけてくる。深い喜びも生まれてくる。◆「道をひらく」

（木村建斗）

Panasonic創設者
松下幸之助

宮井のつぶやき

◆ONE TEAM◆現在、教育実習生として蔵田 知浩（くらた ともひろ）先生が来られている。実習期間中は、先生として君たちと関わって下さるので、ぜひ声をかけてみてはどうだろうか。◆現在もラグビートップリーグ、NTTドコモのレッドハリケーンズで活躍されている。正真正銘（しょうしんしょうめい：嘘偽りのないこと）の現役ラグビー選手である。◆ラグビーといえば、2019年に日本で行われた、ラグビーワールドカップが記憶に新しい。今大会で日本代表は「過去最大の下剋上」を成し遂げた。前回の南アフリカ大会（2015年）、優勝2回の強豪南アフリカに勝利を収め、世界に衝撃を与えたものの、スコットランドに大敗を喫し決勝トーナメント（以下、決勝T）進出を逃した。今大会は是が非でも（ぜがひでも：どんなことがあっても）ベスト8、決勝T進出を成し遂げたかった。約300日に及ぶ強化合宿、想像を絶するようなハードワークを乗り越え、初戦のロシア戦に勝利。続く第2戦、相手は当時世界ランキング一位のアイルランド。下馬評（げばひょう：世間の評判）を覆し見事勝利を収めた。第3戦のサモア戦にも勝利し、第4戦は前回大会で敗北しているスコットランド。勝てば念願のベスト8、決勝T進出が決まる。ここでも見事勝利を収め、初のベスト8、決勝T進出を決めた。◆誰がこの結果を予想しただろう。しかし、彼らは知っていた。自分たちのやってきたことを。我々も同じ。誰も期待していない。だがやってきたことは自分が一番知っている。成し遂げよう、「過去最大の下剋上」。

校歌

市土の森なる
松高く
峠山峡の水澄みて
唐櫃の丘に
そびえ立つ
我が学び舎に
栄あれ
ああ、我らが
神戸北高校

校訓

実　親　規　誠
践　愛　律　実